

◎ 地域振興部

地域の目指す将来像	目標	事業計画	事業実績	成果と課題
やすらぎ 地域づくり	高齢者を支え合える住民参加の地域づくりの推進	『住み続けられる町づくり推進会議』と地域課題の解決に向けた連携した取り組みのさらなる推進 ① 市社会福祉協議会と連携したふれあいサポート事業の推進 ② サロン活動の支援やおすそ分け事業などによる見守り活動の推進	6/ 1 推進会議役員会 6/18 おすそわけ活動（アユの塩焼き） 21人 6/24 住み続けられる町づくり推進会議総会 11/26 住み続けられる町づくり推進会議 介護保険研修会	住み続けられる町づくり推進会議で高齢者の見守り、サロン活動の交流、地域での福祉懇談会開催の啓発を行った。9地区でサロン活動が行われている。今後も各サロン活動に支援するとともに、高齢者見守りにつながる活動が求められる。
かがやく 地域づくり	ものづくりプロジェクト活動の推進	地域のいきいきとした活動を支援 ① 地元食材を活用した新メニューづくりで鶴ヶ岡の魅力発信 ② 地元食材を活用した起業の先進地視察研修	7/ 4 ものづくりプロジェクト会議 夏祭り・実りの秋まつり打ち合わせ 9/27 ものづくりプロジェクト会議 「さば寿司さみっと」打合せ 11/13 実りの秋まつり・京都美山さば寿司さみっと in 鶴ヶ岡 鶴ヶ岡の味コンテスト 鯖寿司やさばのお惣菜募集 さば寿司12人 惣菜9人 出展	夏まつり、秋まつりで鶴ヶ岡地域のいきいきとしたものづくりの活動を広くPRできた。 「さば寿司さみっと」で、地元の鯖寿司やさば料理を出展することで来場者に鶴ヶ岡の魅力を発信することができた。また外部審査員から作り手に評価いただいたことで今後のものづくりの励みとなった。 先進地視察については実施できなかったが、地域の課題を研修する場として今後の取組としたい。
うるおう 地域づくり	交流人口を増やす取組の推進	交流による「うるおい」を創出 ① 鶴ヶ岡の自然環境を活かした交流促進 地域資源発掘ツアーなどの実行 「栃の実拾い」 ② ゆるキャラ「まなづるちゃん」を活用した魅力発信 ③ 地域内の都市交流事業の支援	8/ 8 「栃の実拾い」 栃原区との打合せ 9/11 地域資源発掘ツアー「栃の実拾い」実施 地元住民合せ 30名参加 収穫量 250kg ・「まなづるちゃん」缶バッジを各種イベント時に配布し鶴ヶ岡をPRした。 着ぐるみの作成検討 ・鶴ヶ岡おかえりボックスに「まなづる」デザイン採用 ・各種都市交流事業の広報等の後援で支援 ・学校活用室と協働で「山里の記憶伝承事業」 10/2 なれ寿司(10) 11/6 栃もち(10) 11/20 しめ縄(10) 2/12 味噌(16)	「栃の実拾い」は、地元区との共催で行い「美山歩こう会」事業とあいまって多くの参加者があり、地元力の向上と地域資源の再発見につながった。今後はボランティアなどの募集も行うなど都市交流につなげたい。 ・地域アピールに「まなづるちゃん」をうまく活用し鶴ヶ岡の魅力を発信することが必要である。 山里の記憶伝承事業では地域内外から延べ 46人の受講生があった。地域のお年寄りの技を伝承する機会となるとともに、鶴ヶ岡の魅力を発信することができた。

	<p>伝統文化の 継承</p>	<p>地域に残る伝統文化の保存・継承 鶴陵太鼓等地域文化の保存継承に向けた取り 組み サークルの立ち上げ</p>	<p>6月に鶴ヶ岡地内に鶴陵太鼓サークル募集案 内配布 6/27 第1回練習日 講師：新川豊実 氏 以降第2・4月曜日を定期練習日 参加者 大人11人と地域の小学生 のあがりフェス、秋祭り、鶴ヶ岡フェスティバ ルで発表</p>	<p>鶴ヶ岡小学校で、永く引き継がれてきた「鶴陵太鼓」を 閉校とともになくすのではなく地元の郷土芸能として引き 継ぎ発展させていくきっかけができた。 今後は発表機会を増やすなど、会員も増やし活動の場 を広げたい。</p>
<p>つながる 地域づくり</p>	<p>地域住民の ふれあいを 創出し活力 ある地域づ くり</p>	<p>・地域の手づくりイベント開催</p> <p>① 鶴ヶ岡夏まつり 8月24日(水) ※上松と同日開催</p> <p>② 実りの秋まつり 11月13日(日)</p> <p>③ 小さな町の美術館で地域のものづくり活動 紹介</p>	<p>8/24 鶴ヶ岡夏祭り開催</p> <p>11/13 鶴ヶ岡実りの秋まつり・京都美山さば寿 司さみっと in 鶴ヶ岡 農産物等品評会 13人(33点) 出展</p> <p>・小さな町の美術館では、年間を通じて、地域住 民の作品展示 ・作品展示者 12名/年間及びこぶしの里 ・鶴ヶ岡フェスティバルで行われた体験教室の 陶芸作品展示</p>	<p>地域内外の多くの人の参加で賑わい作りができた。 夏祭りは平日開催で準備等の人手が不足する傾向にあ る。開催日、内容等検討をする必要がある。 実りの秋まつりは、京都府と共催で「京都さば寿司さみっ と in 鶴ヶ岡」と並行して開催し、用意した鯖寿司が早々に 売り切れとなるほど多くの参加者があった。 大きなイベントほど多くの人手を要するが、今回は学 生ボランティア(佛教大・立命館大)にお世話になった。 今後も、地域内にとどまらず他地域や近隣町とも協働し た取組が地域振興につながると考える。 振興会事務所に開設している小さな町の美術館で は、地域の創作活動の発表の場として年間展示を行っ た。商品化した作品もあり、今後は特別に土日開館を検 討する必要がある。</p>

※その他 5/15～11//中旬 南丹市の環境を守り育てる会の緑のカーテン運動としてゴーヤ栽培(20株)を取り組みました。
美山町環境保全対策協議会の町内パトロールに参加しました。10/14